

九条だより

第131号

北広島九条の会 2018.11.1 発行
事務局 梁川彰博 (ヤガワ アキヒロ)
TEL・FAX 375-9600
メール kitahiro-9jounokai@live.jp
ホームページ <http://www.kitahiro9.org/>

◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

11月例会のお知らせ

憲法の話 『日本国憲法の三つの特徴』

<お話> 中村 憲昭 弁護士

11月4日(日) 午後2時～4時 団地住民センター

資料代 200円 高校生以下は無料

*『憲法の話』は3回目、いよいよ最終回です。9月8日に予定されていましたが、大地震のため中止となりました。その後中村先生のご厚意で11月にセットすることができました。

*安倍晋三氏が自民党の総裁に三選され、向こう3年間また首相をすることになります。総裁選の最中にも、「憲法9条に自衛隊を明記」する自民党の改憲案を、10月24日に開会された臨時国会に提出することを再三にわたり発言しました。中村弁護士にはこうした動きも含めてお話していただきます。

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□

10月19日現在、「市民アクションの会」の署名は、1311筆に。

安倍9条改憲NO！市民アクションの全国統一署名

臨時国会開会中、3千万筆めざしてさらに取り組みを強めましょう。

「安倍9条改憲NO！3千万署名をすすめる全国市民アクション」は、署名が1800万筆に到達したと発表しました。臨時国会が開会中です。取り組みをさらにすすめましょう。「市民アクション・北広島の会」は、発足以来、精力的に街頭署名や地域訪問署名に取り組み、市内の各団体と合わせて7千筆に達しました。4～10月のこれまでの諸行動にのべ500名以上の市民の方が参加しました。

◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

市民と野党の共闘をすすめる北海道5区の会からお知らせ

「市民連合@新潟」共同代表佐々木寛さんをお招きして講演会が開かれます。

12月9日(日) 午後6時～ 札幌市厚別区民センター・大ホール

新潟県の市民運動は、これまでの国政選挙や県知事選挙で「市民と野党の共闘をすすめる」中心的な役割を果たしています。佐々木寛さんからは実践的な経験に富んだお話がされると思います。「市民と野党の共闘」の運動も3年目、新たな飛躍を期してこの講演会が組まれました。皆さまのご参加をお待ちしています。

私たちは非力だが無力ではない、諦めないで声を出し続けよう！

10月8日、北広島九条の会は第12回総会を行いました。記念講演に、高崎 暢(とおる) 弁護士をお招きしました。演題は、「いま、憲法を考える」。60人の市民が、熱心に耳を傾けました。

高崎さんは、「今、憲法は歴史上もっとも危険な状況にある」と、安倍改憲の動きを語りはじめました。しかし、「『自民党総裁選』『沖縄県知事選』は、安倍政権による改憲策動のつまずきを示しており、改憲に向けてのスケジュールが窮屈になっている。何よりも国民が改憲を望んでいないことが、この間の世論調査で明らかになっている」と言います。そして、「安倍晋三は現憲法を『アメリカによる押しつけ憲法』というが、彼らの策動こそ『押しつけ改憲』である」と厳しく批判しました。

次に、高崎さんは自衛隊を憲法に明記するという改憲案について、憲法9条2項を死文化するものに他ならないことを詳しく説明しました。また、自民党が優先改憲項目の一つであると言っている「緊急事態条項」についても、その重大な問題点を指摘し、改憲は許されないと述べました。

高崎さんは、自分自身に取り組んでいる「安保法制違憲北海道訴訟」について、その意義を述べ、勝訴できるかどうかは支援者の広がり・国民運動にかかっていると語り、支援を呼びかけました。安倍改憲を許さない運動は、当面の最大の課題と言いき、できることから始めていこうと強調されました。そして、運動を進めていく上で、「沖縄に学ぶ」「憲法9条を守り生かす私たちの運動は、朝鮮半島の非核化、北東アジアの平和実現へのたたかいの一つ」「核兵器廃絶、反原発、消費税増税中止、九条の会などの運動はすべてつながっている」「市民と野党の共闘を前進させ、地方選・参議院選挙で勝利しよう」と訴えました。

最後に高崎さんは、「私たちは非力だけど無力ではない」「あきらめないで声を出し続けよう」と呼びかけました。ドイツ連邦第6代大統領ヴァイツゼッカーの演説を引用して「『過去に目を閉ざす者は、現在に対してもやはり盲目となる』というところが有名ですが、『自由民主主義体制において必要な時期に立ち上がるなら、後で独裁者に脅える必要はない、つまり自由民主主義擁護には法と裁判所だけでは不足で市民的勇気も必要』と述べています。今こそ私たちは『市民的勇気』を発揮する時です」と力強く語りました。

記念講演の終了後、第12回総会が行われました。西の里・虹ヶ丘共同代表の塩崎義郎さん、市民連合北広島の柘植純一さんから激励と連帯の来賓挨拶がありました。

梁川彰博事務局長が、活動方針・役員体制・予算を提案、参加者の総意で承認されました。松島信義共同代表が閉会挨拶を行いました。

◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

◎「まなび座」第54回会合。11月12日(月)午後1時半～ 市役所 多目的室

新しいテキスト 「『改憲』の論点」(集英社新書)

◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

◎お知らせ 市民の戦争体験を伝える「バトンタッチ」第8集が刊行されました。玉稿をお寄せいただいた市民の方は13名、特別企画として「旧陸軍通信所シンポジウム」の記録が掲載されています。頒価300円。ぜひご覧ください。

◎募金のお願い 当会は会員制をとっていません。活動は皆さんの浄財が頼りです。是非ご協力をお願いします。 郵便振込み口座・北広島九条の会02790-9-65384